

事業所名

こどもサポート教室「きらり」安城校

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7 年

3 月

31 日

法人（事業所）理念		「誰にだって輝ける舞台がある」一人ひとりが「キラリ」と輝けるように“分かった”“できた”こんな経験を通して子どもたちの成長を見守りたい。						
支援方針		私たちは、「その子」をしっかりと見つめ、「その子」の立場になって考え、「その子」の成長に喜びを感じます。そして、うれしい時もつらい時も、大人に寄り添われ、自分の思いを受け止めてもらえる中で、「その子」が「自分をかけがえのない存在」と思ってもらえるように努力いたします。						
営業時間		月～金曜日	9 時	30 分から	18 時	30 分まで	備 考	*個別支援、課題に合わせて、一部小グループ支援あり。 *祝日も営業。祝日が土曜日の場合は土曜日の営業時間。
		土曜日	9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	原則なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・ こどもの身体に関するアセスメントをしっかりと把握し、活動中の表情や様子を常に観察し、配慮のある関りをこどもと持ちます。 ・ 基本的生活スキル（あいさつ、衣服の着脱、トイレの使い方、事業所での活動時間の過ごし方の理解）を獲得できるようサポートします。 ・ 事業所内外での安全な過ごし方について、視覚効果などを適宜活用してこどもの理解をわかりやすく促します。						
	運動・感覚	・ 自身で選択ができ、興味関心や発想を豊かにするものや、道具に触れる活動を提供します。 ・ 日常的に生かせる、はさみ・のり・箸・スプーン等の道具に触れ、手先の運動と共に、ルールの提示し、使い方や危険性なども認識できるよう促します。 ・ こどもの感覚の特性や偏りを踏まえつつ、お子様の感覚刺激を満たし五感に訴える活動にとりくみます。 ・ 微細運動や粗大運動を通して、体の使い方が向上するよう支援します。 ・ 必要に応じて、こどもの姿勢保持を補助するツールを使い、正しい姿勢を意識することや正しい姿勢で活動する時間が増えるようサポートします。						
	認知・行動	・ こどもの発達段階を見極め、興味の幅を広げ、困難さがある部分に大人の助けを得て、全体の成長を促します。 ・ こどもの認知の特性について一緒に理解を深めながら、認知の偏りへの気づきや適切な対応に結び付けていけるよう支援します。 ・ 感覚を十分働かせながら、物の扱い方やしくみの理解などを促す支援します。						
	言語 コミュニケーション	・ セラピストや職員（大人）とのかかわりの中で、他者との円滑なコミュニケーションを学べる支援を行います。 ・ 大人との関りから、同世代とのやりとりにつなげ、気持ちをことばや体で表出し、自身の気持ちをコントロールできるよう促していきます。 ・ こどもの発達に合わせて、ことばの理解や表出が豊かになるよう支援します。 ・ こどもの発達に合わせて、文字を読む力や書く力が向上するよう支援します。 ・ 場や状況に応じた適切なコミュニケーションができるよう支援します。 ・ 場面に応じて、その都度声がけをしたり、やりとりの中で場面やことがらをイメージできるよう、教材を使いながら支援します。						

	人間関係 社会性	<導入不安を軽減していきます。> 大人とのコミュニケーションを通して、自身の苦しいことや初めての事にも挑戦する気持ちを増やし、「成功体験」や「失敗体験」の双方を経験して、自信へと変えていくよう支援します。抵抗があることも、誰かと一緒にとりくむことで、また1つ、経験が増えるよう活動の提示を行います。 ・教材を使ってセラピストと楽しく遊ぶ活動を通して、順番やルール、約束を守ることや物を大切に扱うことの大切さを知り、社会性を育めるよう支援します。 ・セラピストとの良好な関係性を築く経験を基にして、他児や集団の中で関係性をつくっていけるよう支援します。		
	家族支援	セッションでのセラピストは直接的支援を、教室のスタッフは間接的支援を全力で行います。問題が発生した場合は、現場で迅速に対応し、丁寧にバックアップします。発達のプロとしての知識や経験を維持・向上させるため、日々研鑽と努力を怠りません。保護者様に実際の支援場面を観察または参加いただいた上で、特性や、特性を踏まえた関わり方や、お子様との関わり方等に関して、相談援助を行います。	移行支援	登園する園や移行する機関との具体的な対応を話し合い、互いの役割分担と協力関係の中で支援していきます。 関係機関へ必要に応じて、個別支援計画やその計画に基づいた具体的な活動の内容と、情報連携を行い、こどもの円滑な園生活の下支えを促し、次のステップのための個別支援計画の見直しに生かしていきます。
	地域支援・地域連携	地域の方からの信頼を得られるように、支援の質を向上させる努力をします。 連携会議を定期的開催して、情報収集・役割分担について協議していきます。 各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面でのこどもとの関わり方への提案や、良好な関わり方のポイントについて助言を行います。	職員の質の向上	法人・ブロックエリア・事業所内研修・外部研修の派遣など。 療育・制度・5領域等に係る読み合わせ。他校舎見学・交流会などとりくんでいきます。
	主な行事等	季節に応じた不定期イベントの開催。（母の日、父の日、夏休みの行事、ハロウィン・クリスマスなど） 保護者の交流会を目的とした行事実施。		